

広島商船高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)	授業科目	卒業研究
科目基礎情報					
科目番号	1953008	科目区分	専門 / 必修		
授業形態	講義	単位の種別と単位数	履修単位: 11		
開設学科	電子制御工学科	対象学年	5		
開設期	通年	週時間数	11		
教科書/教材	参考書 各研究室のテーマに関する専門書および研究論文				
担当教員	梶原 和範,大和田 寛,酒池 耕平,浜崎 淳,綿崎 将大,峠 正範,山下 泰史,西原 正継				
到達目標					
(1) 自主的に新しい情報や知識を習得し、課題への継続的な取り組みができる。 (2) 研究の目的を理解し、実験を計画・遂行し、結果を整理して解析できる。 (3) 研究の目的・方法・結果・考察・結論等をまとめて論文が作成できる。 (4) 研究成果の資料を作成して発表し、説明することができる。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1	自主的に新しい情報や知識を習得し、課題への継続的な取り組みができ、自ら研究の方針の提案や手法の提案ができる。	自主的に新しい情報や知識を習得し、課題への継続的な取り組みができる。	自主的に新しい情報や知識を習得し、課題への継続的な取り組みができない。		
評価項目2	研究の目的を理解し、実験を計画・遂行し、結果を整理して解析するとともに、後に解決すべき問題点を抽出し解決法の提案ができる。	研究の目的を理解し、実験を計画・遂行し、結果を整理して解析できる。	研究の目的を理解し、実験を計画・遂行できない。結果を得ることができない。		
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	文献調査、研究計画、実験の実施および結果の解析と考察を通して、専門的知識・技術を習得・活用してものやシステムを造る能力、習得した技術を基に問題点を発見してその解決策を計画・実現する能力、および研究成果をまとめて説明する能力を身につけることを目的とする。				
授業の進め方・方法	(1) 研究テーマと配属は原則として4年次の研究室に配属する。 (2) 卒業研究担当教員が個別指導を行う。 (3) 研究テーマに関する専門科目の授業の復習、専門書や研究論文等を読んで理解に務めること。 (4) 卒業研究論文は、所定の様式(目的、実験方法、結果、考察・検討、結論など)に従って作成し、提出すること。 (5) 卒業研究論文をまとめた上で発表を行い、聴講者に対して結果を周知し質疑応答を行う。				
注意点					
授業の属性・履修上の区分					
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応	
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	1. 研究実施	(1) 研究準備(調査・予備実験など)を行うことができる。	
		2週	1. 研究実施	(1) 研究準備(調査・予備実験など)を行うことができる。	
		3週	1. 研究実施	(1) 研究準備(調査・予備実験など)を行うことができる。	
		4週	1. 研究実施	(1) 研究準備(調査・予備実験など)を行うことができる。	
		5週	1. 研究実施	(1) 研究準備(調査・予備実験など)を行うことができる。	
		6週	1. 研究実施	(2) 調査・実験・データ整理・解析などを実施できる。	
		7週	1. 研究実施	(2) 調査・実験・データ整理・解析などを実施できる。	
		8週	1. 研究実施	(2) 調査・実験・データ整理・解析などを実施できる。	
	2ndQ	9週	1. 研究実施	(2) 調査・実験・データ整理・解析などを実施できる。	
		10週	1. 研究実施	(2) 調査・実験・データ整理・解析などを実施できる。	
		11週	1. 研究実施	(2) 調査・実験・データ整理・解析などを実施できる。	
		12週	1. 研究実施	(2) 調査・実験・データ整理・解析などを実施できる。	
		13週	1. 研究実施	(2) 調査・実験・データ整理・解析などを実施できる。	
		14週	1. 研究実施	(2) 調査・実験・データ整理・解析などを実施できる。	
		15週	1. 研究実施	(2) 調査・実験・データ整理・解析などを実施できる。	
		16週	2. 卒業研究の中間発表	(1) 卒業研究の目的を報告書で説明できる (2) 卒業研究の実験内容・方法を報告書で説明できる (3) 卒業研究で得られた結果を報告書で説明できる	

後期	3rdQ	1週	1. 研究実施	(2) 調査・実験・データ整理・解析などを実施できる。
		2週	1. 研究実施	(2) 調査・実験・データ整理・解析などを実施できる。
		3週	1. 研究実施	(2) 調査・実験・データ整理・解析などを実施できる。
		4週	1. 研究実施	(2) 調査・実験・データ整理・解析などを実施できる。
		5週	1. 研究実施	(2) 調査・実験・データ整理・解析などを実施できる。
		6週	1. 研究実施	(2) 調査・実験・データ整理・解析などを実施できる。
		7週	1. 研究実施	(2) 調査・実験・データ整理・解析などを実施できる。
		8週	1. 研究実施	(2) 調査・実験・データ整理・解析などを実施できる。
	4thQ	9週	1. 研究実施	(2) 調査・実験・データ整理・解析などを実施できる。
		10週	1. 研究実施	(2) 調査・実験・データ整理・解析などを実施できる。
		11週	1. 研究実施	(2) 調査・実験・データ整理・解析などを実施できる。
		12週	1. 研究実施	(2) 調査・実験・データ整理・解析などを実施できる。
		13週	1. 研究実施	(2) 調査・実験・データ整理・解析などを実施できる。
		14週	1. 研究実施	(2) 調査・実験・データ整理・解析などを実施できる。
		15週	1. 研究実施	(2) 調査・実験・データ整理・解析などを実施できる。
		16週	3. 卒業研究の発表	(1) 卒業研究の目的を理解し、口頭で発表することができる。 (2) 卒業研究の内容を理解し、口頭で発表することができる。 (3) 卒業研究で得られた結果を理解し、口頭で発表することができる。 (4) 卒業研究で得られた結果について考察を口頭で発表することができる。 (5) 卒業研究で得られた結論を口頭で発表することができる。

評価割合

	定期試験	小テスト	レポート	発表	成果品・実技	その他	合計
総合評価割合	0	0	60	40	0	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	30	20	0	0	50
分野横断的能力	0	0	30	20	0	0	50